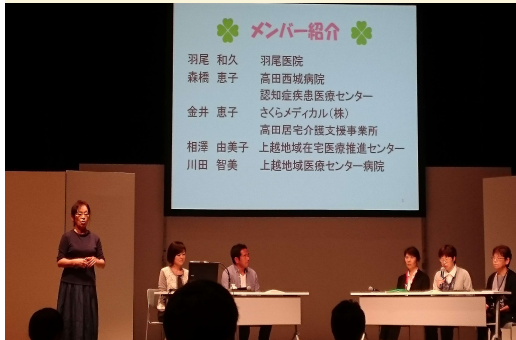


普及啓発ステージイベントを実施しました。



2017年10月28日
オーレンプラザにて

10月28日(土)に新潟日報社主催の「福祉・介護・健康フェア in2017 上越」が開催され、上越市・妙高市在宅医療介護連携推進協議会の普及啓発部会において、ステージイベントを実施いたしました。

「いつまでも住み慣れたこの地域で暮らしていくために、今できること」と題し内容は市民対象の普及啓発です。

これまで、普及啓発部会を中心に、検討・準備をし、10/4(水)19:00~21:00部会、10/23日(月)19:00~21:00リハーサル、当日は5人の協議会部会メンバーがステージに登壇し、座談会形式で行いました。

○出演者：森橋部会長、川田副部会長(司会)・金井委員・相澤委員と、多職種連携推進・研修部会から羽尾医師より応援いただきました。

○ステージイベント流れ

将来、自分や家族に介護が必要になることをイメージし、今何が出来るかを伝える機会としました。

大切なポイントとして、

- ① 相談すること(まずは地域包括支援センターへ)
- ② 心構えを持つこと(早いうちから介護について話そうよ)

を伝えました。

★当日は緊張の中でしたが、市民に向けて在宅医療・介護の発信をすることができたと思います。



次回部会：平成30年2月頃

具体的な普及啓発についての検討をしていきます。

